

科目名	インターンシップ5							年度	2026
英語科目名	Internship 5							学期	後期
学科・学年	A I システム科 2年次	必/選	選3	時間数	120	単位数	4	種別※	実習
担当教員	インターンシップ先担当者	教員の実務経験		有	実務経験の職種		IT関連職種		
【科目の目的】 インターンシップとは、学生が在学期間中に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うことを指す。本カレッジのインターンシップは、産業界の協力を得て実践的な体験と動機づけにより将来の企業人を育成することを目的とする。インターンシップでは、企業活動の一端に触れることにより、次の事項に関してなんらかの学習効果を期待する。1つ目に企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解すること。2つ目に企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解すること。3つ目に学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを確認し、今後の学習への動機づけをすることである。									
【科目の概要】 一定期間企業などの研修生として働き、自分の将来に関連のある職業体験を行う。									
【到達目標】 在学期間中に、自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行い、実践的な体験と動機づけにより将来の企業人を育成することを到達目標とする。具体的には、企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解すること。企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解すること。学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを確認し、今後の学習への動機づけをすることを目標とする。									
【授業の注意点】 インターンシップ開始前に担当教員と顔合わせに行く。また、インターンシップ活動賠償責任保険に事前に参加すること。勤務時は受入先から特に指定がない場合は原則、スーツを着用する。期間中に電車遅延や体調不良で遅刻・欠勤する場合は必ず電話連絡すること。無断欠勤や勤務時の態度が悪い場合は、インターンシップを中断する可能性がある。その他、社会人として必須のマナーを守ってインターンシップに参加すること。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解し実践できる		企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解しているが、実践できない				企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解していない		
到達目標 B	企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解している		企業の組織構造を理解していない、または組織における人間関係やルールを理解していない				企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解していない		
到達目標 C	学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを理解し、今後の学習への動機づけをすることができる		学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを理解しているが、今後の学習への動機づけをすることができない				学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを理解しておらず、また今後の学習への動機づけをすることができない		
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 配布資料									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 授業内容の理解度、実施内容について評価する。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		インターンシップ3			年度	2026
英語表記		Internship 5			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	インターンシップ参加(1)	会社概要、就業規則及び情報セキュリティの説明、実習の内容などを理解する	1 企業研究	会社概要と就業規則を理解する	3	
			2 情報セキュリティ	就業時の情報の取扱い方とリスクについて理解する		
			3 業務内容	インターンシップで行う業務内容を理解する		
2	インターンシップ参加(2)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性を身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
3	インターンシップ参加(3)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性を身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
4	インターンシップ参加(4)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性を身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
5	インターンシップ参加(5)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性を身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
6	インターンシップ参加(6)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性を身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
7	インターンシップ参加(7)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性を身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
8	インターンシップ参加(8)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性を身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
9	インターンシップ参加(9)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性を身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
10	インターンシップ参加(10)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性を身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
11	成果報告会の実施	各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する	1 報告書の準備	発表することを念頭に適切に文書をまとめる	3	
			2 報告書の発表	活動内容を分かりやすく報告する		
12	成果報告会の実施	各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する	1 報告書の準備	発表することを念頭に適切に文書をまとめる	3	
			2 報告書の発表	活動内容を分かりやすく報告する		
13	成果報告会の実施	各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する	1 報告書の準備	発表することを念頭に適切に文書をまとめる	3	
			2 報告書の発表	活動内容を分かりやすく報告する		
14	成果報告会の実施	各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する	1 報告書の準備	発表することを念頭に適切に文書をまとめる	3	
			2 報告書の発表	活動内容を分かりやすく報告する		
15	成果報告会の実施	各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する	1 報告書の準備	発表することを念頭に適切に文書をまとめる	3	
			2 報告書の発表	活動内容を分かりやすく報告する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等